

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年9月16日（金）
13時28分～14時59分
全 員 協 議 会 室

【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 河上局長、小寺書記

議題

1 第2回はまだ市民一日議会について……………資料1

- (1) 発言者確定
- (2) 役割分担、準備物等確認
- (3) その他

2 地域協議会との意見交換会について……………資料2

- (1) 報告書の確認
- (2) その他

3 その他

- (1) 9/29全員協議会での報告

【次回委員会開催予定日】 令和4年9月30日（金）午前9時00分 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 28分 開議]

三浦委員長 議会広報広聴委員会を始める。出席委員10名で定足数に達している。今日の議題はその他含めて3点ある。はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）、地域協議会との意見交換会について、皆から意見を伺う。議題に沿って進めていく。

1. 第2回はまだ市民一日議会について

(1) 発言者確定

三浦委員長 発言者の確定を行う。小寺書記から応募状況等の説明をお願いする。

小寺書記 9月14日水曜日の午後5時までで12件の申し込みがあった。10人を超えたら抽選ということで用意しているので、そのまま進めてよろしいか。あと、申し込み表に名前が出ているが、会議内では申し込み番号で呼んでいただき、名前は出さないようお願いする。

三浦委員長 これまでの議論で、今回の定員は10名なので抽選という形になる。ただ、昨年度は10人という定員に対し18名の応募があり、初回であることや市民の発言機会をできるだけ設けようということで再考し、結果的には応募者全てに発言いただく形を取った。今回2名オーバーになっているが、今までの議論の流れで10名ということで抽選するか、あるいは2名の方に対しても配慮して全ての人に話していただくか。皆のご意見を伺ってから次に進みたい。

沖田委員 委員長にお尋ねしたい。そもそも10名になった経緯は。

三浦委員長 書記に調べてもらう。暫時休憩する。

[13時 31分 休憩]

[14時 05分 再開]

三浦委員長 委員会を再開する。休憩中に10名になった経緯を説明してもらった。今年はそういうことで、今年度も10名という枠を設けて募集した。

改めて皆に伺う。今年度、10名という定員を設け募集した。実際に12名の応募があったが、昨年同様少し枠を増やすか、あるいは

大谷委員

はこれまで議論を積み重ねてきているが10名のままでいくか。

これまでの委員会の論議の中で、定員10名、それを超えた場合は抽選と確認してきているかと思う。また、個人的にお願いに行ったところでもオーバーしたら抽選だと伝えているので、当初の確認のとおり10名とし、抽選という形で致し方ない。

川神委員

去年は初めての経験だということで申し込み者にそのまま発言いただいたが、その後の委員会において、ルールで10名だと市民に訴えているので、今までの議論の積み重ねを含めてルールはきちんと守り、10名にしっかり発言いただくのがよろしいかと思う。

川上委員

たくさんの方に申し込んでいただいたので12名でもよいかと少し頭に浮かんだが、やはり当初どおり、当委員会で決めた10名を超えた場合抽選という形で進めていただきたい。

三浦委員長

ほかに。ないようなら当初の予定どおり10名という枠で、12人の中から抽選で10名選出させていただきたい。選出方法について小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

抽選器をあちらに用意している。1から12まで書かれた玉を副委員長に入れていただく。回すのは委員長にお願いし、玉の読み上げは副委員長にお願いします。玉が10個出るまで回す。10個出た後に副委員長に抽選器の中身を確認していただき、出てない2個を確認する。最後に決定した方の申し込み番号を読み上げる。そういう流れでお願いしたい。抽選で出た順番を発言順にしたい。

三浦委員長

今の方法について皆から質問は。

(「なし」という声あり)

では回す。

《 抽選 》

三浦委員長

結果をお願いします。

小寺書記

発言順1 — 4番

発言順2 — 5番

発言順3 — 10番

発言順4 — 6番

発言順5 — 9番

発言順6 — 12番

発言順7 — 8番

発言順8 — 1番

- 三浦委員長 発言順9 — 11番
発言順10 — 7番
2番、3番の方はこのたびは残念だった。間違いないだろうか。
今の抽選結果のとおり申し込みされた方に返事ないし今後の対応をよろしく願います。
- 大谷委員 1点、今回団体で申し込まれた方が数名いる。団体を代表してということではあるが、あくまで個人でエントリーいただいているという認識なのだが、そういった場合、代理で発言者を立てるといった対応について、皆とルールを共有しておく必要があるかと思う。当日やむを得ず欠席された場合、ほかの方、同じ所属団体の方に発言を許可するかどうか。皆どのように考えるか。
- 川上委員 一応個人でエントリーしていただいた形かと思うので、エントリーいただいた方の発言で、何らかの事情で来られない場合には致し方なく欠席の扱いでよろしいと思う。
- 三浦委員長 個人の思いで申し込まれているので、個人が変わるのは思いが変わってくる可能性があるので、個人でしていただく。つまり代理というのは基本的に考えてない。
- 三浦委員長 ほかにも。2人の委員から、あくまで個人としての発言機会ということで、今回において代理は立てられないということで進めてはどうかということだった。ほかになればそのようなルールで進めたいと思うが、よろしいか。
- (「異議なし」という声あり)
- ではそのような形でそれぞれの発言予定者にも通達をお願いします。発言者の確定については以上でよろしいか。
- (「はい」という声あり)

(2) 役割分担、準備物等確認

- 三浦委員長 小寺書記から説明をお願いします。
- 小寺書記 (以下、資料をもとに説明)
- 三浦委員長 順に決めていきたい。まず役割分担だが、赤字部分に皆それぞれご協力いただきたいが、希望があれば何う。
- 《 各担当者決定 》
- 三浦委員長 協力をよろしく願います。次に準備物だが、発言者配付希望資料が赤字になっているが。

小寺書記
三浦委員長

発言者にご用意いただく資料ということを示している。
ボリュームはどうなっているのか。事務局側で印刷はかけない
ということか。

小寺書記
三浦委員長

はい。
発言に際してパソコン・スマートフォン等の機器は、資料を閲
覧するときに使ってもよいとするか、どうするか。なしでよいか。

小川委員

今の時代なので、タブレットでつくった原稿に基づいて発言さ
れる方が結構おられるのでは。議員側も全員がタブレットを見な
がら聞く形になると思うので、発言者側も使われるのでは。

三浦委員長

去年は希望があったか。使いたいと。撮影はどうなのだろう。
記録のために。パワーポイントなどを使って投影などをしながら
という話では今回はないと思うので、特段パソコンなどを使う機
会はないとは思いますが。小川委員がおっしゃったような部分に配慮
して、削るか。基本的には原稿を読んでいただく形での発言なの
で、そういう文脈からここはそのまま残すか。暫時休憩する。

[14時 25分 休憩]

[14時 35分 再開]

三浦委員長

委員会を再開する。先ほどに引き続きだが注意事項一覧の、発
言に際しパソコン、スマートフォンなどの機器は使用しないでと
あるが、小川委員からも発言の際にタブレット等を使われるケー
スがあるのではという指摘があった。この点については配慮して、
この注意事項から削除するというのでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

ではこの部分は削除したい。次、携帯電話やスマートフォン、
その他音を発生する機器の電源を切るとある。これはマナーモー
ドにするというのを付け加える形に修正でよろしいか。

(「はい」という声あり)

次に拍手だが、これは発言者にエールを送る意味で、去年同様
あってもよろしいか。

(「はい」という声あり)

大谷委員

では特段変更なしで。そのほか、皆から指摘があるか。
注意事項以外にあるのだが、それは今発言してよいか。

三浦委員長

はい。

大谷委員

注意事項の前に、抽選結果を通知する文面について。抽選に漏れた方への文面の中に、次回開催時は優先的となお書きがある。これはこれでよいのか。

小寺書記

前回の第1回をやったときの議論で、抽選をやったときに漏れた方がいるようなら次に申し込むときには優先的に発言できるようにしてあげるのがよいのではといった議論があったので、これを入れている。具体的にどうするかになると、仮に定員10名を第3回にも設けるのであれば、まず今回抽選に漏れた2人は決定、残り8枠を抽選にする形かなとは思うだが。

大谷委員

3回目をやる予定になってないと思うので、次回のことをこの時点で言及するのはまだ早いのでは。単に抽選漏れを通知すればよいのでは。

三浦委員長

大谷委員からのご指摘があった。確かに第3回の開催についてはまだ議論されてないので、それに対しての約束になるので配慮が必要かと思うが。

川上委員

せっかくなので、「次回開催する場合には」でよいのでは。

大谷委員

心情的にはよくわかるが、ただそれについても優先権を付与するかどうかについては論議もしていない。決まってないことをここで示すのはまだ早いのでは。

三浦委員長

第1回的时候にそのような配慮をしようということで、それを踏襲した形になっているが、ちょうど今問題提起されたので今回抽選に漏れた方2人にお返事を差し上げる際に、次回開催された際には優先的に発言いただくよう調整させていただくと伝えるかどうか。この流れで皆の意見を伺って決めたい。どうだろうか。

大谷委員

そもそも3回目をするという方向性があるわけではないので、したがって3回目を想定して何か言葉を添えるのは適切ではないのではというのが私の考えである。

川上委員

私はそういう予定を組んだとかではなく、した場合には。あくまでも予測なので、そのときはそれでよいのでは。初めから3回目をやるとは言っていない。

小川委員

大谷委員が言われるように、3回目については2回目が終わって3回目をやるかどうか議論の上で決定されることではないか。2回やってみて、果たして3回目以降も継続するのか、年2回にするの

か、年齢を分けるのか、今までいろいろ議論があった。それらを踏まえて少し振り返って委員会の中で議論して決めることではないかと思っている。そういう意味では、今の時点で次回について触れるのは責任が持てるか疑問を持った。

沖田委員

悩ましいところだが、次回優先的にというのはまだ不確定な要素もあろうかと思うので。次回にこの2人を優先して、ではほかの枠は10名か、プラス2で12にするのかなど、今の段階では決められない部分もあろうかと思う。この文言は誤解を招くので削除したほうがよいかと思う。

川神委員

今のところは触れないほうが無難かと思う。

上野委員

私もこの2行は気になって、削除したほうがよいかと思うが、せっかく若い方が参加して、しっかり振り返りした後にまた参加できるように温かく見守ってあげるようなことを書いてほしい。

村木委員

3回目については触れるべきではなく、削除と思っている。

肥後議員

次回開催時には優先的に発言できるようにと書いてあるが、今まで皆がおっしゃったように、次回があるかはこの時点でわからないのと、落選は落選で、ご了承をお願いする文面でよいのでは。優先的に発言できるようにするにしても、ここでうたわなくても次回開催までの間にしっかり議論して、何らかの方法で優先的に発言できるような位置づけができるならそのようにすればよい。現時点でこの文章は必要ないかと思う。

三浦委員長

では一旦この2行については、この段階では取る。ただ、先ほど上野委員も言われたが、今回せっかくエントリーいただいた方もおられるので、次回開催されるようなことがあれば声かけするとか、しっかり今後3回目をどうするかなど振り返り議論する中で、今回抽選漏れした方についての配慮も議論するよう取り扱いたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように対処したい。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(3) その他

三浦委員長

市民一日議会についてその他あるか。

大谷委員

注意事項の論議の中でも拍手などの話があったが、前回経験が

ないため逆に聞かせてもらいたいのだが、発言があった後に質問などはどうあるべきか、確認しておいたほうがよいのかと思うが。

三浦委員長

小寺書記、心構えというか議員側の対応の仕方についてはどのようにアナウンスする予定だったか。

小寺書記

9月29日の最終日の全員協議会で委員長からご説明いただいたとは思っている。

三浦委員長

特段、このように対応しようとか、そういうルールを特に設けているわけではない。あくまで市民一日議会を開催する目的は、市民からそれぞれの思いや意見を伺うというところで、決して議論するところではない。したがって、議員側の私見を発言者に向けてするようなことは、その場ではやらないように皆に改めてお願いしようかと思っている程度で、細かく何を発言してはいけないとか、こういう対応をお願いするとか、あまり細かく求めるのもどうなのかと個人的には思うが、ただ、トラブル等を避けるために市民一日議会はこういう場だということは全員協議会で改めて共有はさせていただきたい。それ以上の注意事項が具体的に必要だというご提案があれば、今お伺いしておきたい。

大谷委員

特にこうしてほしいとか、こうするべきという考えは、今は持っていない。ただ、せっかくの話なのでしっかりお伺いするという視点でよいと思うが、発言の中に疑問点があったときに質問してよいのかどうかはわかればと思う。

三浦委員長

理解を深めるために発言者がどのような意図でそれをおっしゃっているのかとか、話の中に不明な点があればもちろん質疑応答の時間で議員側から質問いただくことは可能である。発言時間5分で質疑応答が5分、計10分なので、質疑応答時間を議員側はうまく使って、発言者の発言意図をしっかりと理解していただくような質疑をしていただいで結構かと思う。ほかにはよろしいか。

(「はい」という声あり)

次の議題に移る前に暫時休憩する。

[14時 49分 休憩]

[14時 56分 再開]

2 地域協議会との意見交換会について

(1) 報告書の確認

三浦委員長

小寺書記からまずお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

各班長から何か補足説明があるか。

(「なし」という声あり)

ではこの資料をもって全員協議会の際に各班長からご報告いただく。各班長はよろしくお願いします。

(2) その他

三浦委員長

本件についてその他皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

(1) 9/29全員協議会での報告

三浦委員長

これは先ほどあったように、はまだ市民一日議会の現在の抽選結果等の状況説明と、当日議員側がどのような姿勢で対応するか、改めての確認をその場でさせていただきたい。私から報告する。加えて、地域協議会との意見交換会について各班長から報告いただく流れになっている。皆からその点について質問等はあるか。

(「なし」という声あり)

ではそのように報告させていただく。次回の委員会の日程確認をしたい。

小寺書記

レジュメの下にあるとおり9月30日金曜日の午前9時から、はまだ議会だよりV o 1 . 67の初校が出る予定なのでそちらの校正を全員協議会室で行いたい。

三浦委員長

午前9時からになっているのでお間違いないようお願いします。委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、以上で議会広報広聴委員会を終わりたい。

[14時 59分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀